

第1表

居宅サービス計画書 (1)

作成年月日 年 月 日

初回・紹介・継続

原案について説明・同意がなされた日付

ケアプランは利用者の生活や人生の設計図。
利用者にとってわかりやすいように、
作成することを忘れないで！

利用者名

日 月 年

居宅サービス計画作成日

当該事業所で初めて居宅介護支援を受ける場合「初回」
他の事業所又は介護保険施設から紹介された場合「紹介」
過去に一度でも当該事業所で計画作成をしていたら「継続」

居宅介護支援事業者・事業所名及び所在地

サービス提供前に作成されていますか

居宅サービス計画作成(変更)日

サービス

過去に居宅介護支援を受けていた利用者が、一定期間の後に
紹介を受けた場合「紹介」と「継続」の両方をチェック

認定日

暫定プランは申請日を記載

認定の有効期間

年

要介護状態区分	要
利用者及び家族の生活に対する意向	<p>サービスを受けつつ、どのような生活をしたいと望んでいるのかについて、課題分析の結果が記載されています。</p> <p>時として意向が消極的な場合は、自立意欲を高め、積極的な意向が表明できるようマネジメントしてあげてください。</p> <p>「予後予測の見立て(サービスを受けることにより改善される生活のイメージを持つこと)」ができましたか。</p> <p>利用者や家族が改善可能であろうと思われる生活を、具体的にイメージできるよう、マネジメントしてあげてください。</p>
介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定	<p>第2表のニーズと関連していますか。</p> <p>チームケアの方針が具体的に記載されていますか。</p> <p>利用者及び家族の生活に対する意向に対応した内容になっていますか。</p> <p>サービス種別等の記載はしないようにしてください。</p>
総合的な援助の方針	<p>緊急連絡先が想定される場合、対応機関と連絡先を記載するようにしてください。</p> <p>生活援助中心型を位置付けた場合、該当する項目をチェックしてください。</p> <p>家族等に障害、疾病がない場合であって、やむをえない事情で家事が困難な場合は、その理由を簡潔明瞭に記載してください。</p>
生活援助中心型の算定理由	<p>1. 一人暮らし 2. 家族等が障害、疾病等 3. その他()</p>
居宅サービス計画について	<p>サービス提供前に同意を得ていますか。</p>

利用者が自立した生活に向けて希望が見い出せる計画書になっていますか？

その為には、適切なアセスメントを経て「解決すべき課題」が抑えられていることと、利用者の「望む生活」が明確になっていることです。

利用者の意向を尊重しマネジメントしていますか。

利用者のサービスの選択を保障したマネジメントですか。

利用者の同意を確認し利用者にサインをいただいていますか

サービス提供前に同意を得ていますか。

説明・同意日 年 月 日 利用者同意欄 印

第2表

居宅サービス計画書（2）

利用者

利用者が主役です。どうしたら利用者がハッピーになるのか、利用者と一緒に考えましょう！

作成年月日 年 月 日

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	日 標		援 助 内 容						
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	※1	サービス種別	※2	頻度
<p>アセスメントの分析結果に基づいていますか。</p> <p>どのような課題があり、それを解決するために何を指すのか、分析して明確になっていますか。</p> <p>利用者及び家族の生活に対する意向と関連付けられていますか。</p> <p>「～できるようになりたい」など、取り組みの意欲が生まれるような、自立を支援する視点で課題を設定していますか。</p> <p>利用者が「解決したい、取り組みたい」と意欲的に思う課題を優先して設定することも有効です。</p> <p>サービスを利用するための課題抽出は、避けましょう。</p>	<p>支援を受けながら到達しようとする利用者の目標になっていますか</p> <p>個々のニーズに対応して設定されていますか。</p> <p>実際に解決が見込まれる内容ですか。</p> <p>短期目標が一つづつ解決できたゴールとしての、設定となっていますか。</p> <p>誰にでもわかりやすい具体的な内容で記載されていますか。</p> <p>あいまいで抽象的な言葉は避けましょう。</p>	<p>認定有効期間を考慮していますか。</p> <p>開始時期と終了時期の記載を原則とします。</p>	<p>ニーズ及び長期目標に対応して設定されていますか。</p> <p>すぐに始められる取り組み目標として、的を絞った具体的な表記になっていますか。</p> <p>モニタリング時に達成度がわかるように、具体的に記載していますか。</p> <p>サービス事業所の個別サービス計画を立てる際の指標となるよう、具体的な記載になっていますか。</p> <p>利用者に「実感のわく内容」「まずやってみようと思える内容」にすることも大切です。</p>	<p>妥当で段階的な期間設定になっていますか。</p> <p>サービス導入による変化を予測した上での期間設定となっていますか。</p> <p>開始時期と終了時期の記載を原則とします。</p>	<p>短期目標の達成に最適なサービス内容及方針が示されていますか。</p> <p>利用者が理解できる用語で、具体的かつ簡潔な記載になっていますか。</p> <p>目標達成のためという視点で、支援のポイント・セルフケア・家族の役割等の記載ができていますか。</p> <p>インフォーマルや他制度のサービスも配慮されていますか。</p> <p>加算対象項目のサービス内容についても、しっかり記載されていますか。</p> <p>生活援助中心型についても最適なサービス内容及方針が示されていますか。</p> <p>ニーズ・サービス内容等に福祉用具の必要性が明らかになっていますか。</p>	<p>サービス内容及その提供方針を適切に実行することが出来る資源を選定していますか。</p> <p>セルフケア、家族介護、インフォーマルな支援が、漏れなく記載されていますか。</p> <p>特定のサービスに偏りはありませんか。</p> <p>サービス内容及サービス種別の関連が、利用者にわかりやすいようになっていますか。</p>	<p>特定の事業者には偏りはありませんか</p> <p>家族の誰が、主に担っているのか明記されていますか(種別に記入しても可)</p>	<p>一定期間内で実施する回数、曜日等が、明確に記載されていますか。</p> <p>支給限度額を考慮しつつ、効果的にサービスを組み合わせていますか。</p> <p>利用者の生活リズムに合わせた頻度になっていますか。</p> <p>利用者・家族のサービスの受け入れの都合いに配慮していますか。</p>	<p>短期目標と連動していますか。</p> <p>開始時期と終了時期の記載を原則とします。</p>
<p>短期目標を達成することで「ささやかな達成感」と「小さな成功体験」を得てもらい、生活への意欲を引き出す効果を狙いましょう。</p>			<p>課題を解決するための「単なるサービス内容」の記載だけではなく、どのような点に注意すべきか、どういったことを大切にすべきか等の、支援上の留意すべき視点も含めた具体的な記載になっていますか？</p>						

第3表

週間サービス計画表

利用者名

殿

作成年月日 年 月 日

		月	金	土	日	主な日常生活上の活動
深夜	4:00					
	6:00					
早期	8:00					
	10:00					
午前	12:00					
	14:00					
午後	16:00					
	18:00					
夜間	20:00					
	22:00					
深夜	24:00					
	2:00					
夜	4:00					
	週単位以外のサービス					

利用者の生活と、支援体制の全体像が把握できるように記載しましょう！

第2表に掲げられたサービスが、漏れなく記載されていますか。
給付の内外を問わず、インフォーマルサービスも記載されていますか。
生活リズムに合わせたサービスの提供となっていますか。
生活リズムに合わせた利用時間となっていますか。
サービスの利用曜日や時間に偏りはありませんか。
フォーマル・インフォーマル・家族支援を含めたサービスがバランス良く効果的なケアプランになっているか、図表からも確認しましょう。

利用者の平均的な一日の過ごし方、日常の活動が明らかになっていますか。
習慣化していることなどの記載により、その人らしい生活がイメージできる記載となっていますか。
セルフケアも記載されていますか。
家族の介護への関りの内容が具体的に記載されていますか。
家族の不在の時間等が記載されていますか。

利用者自身が行っているセルフケアを記載してケアチームで共有することで、利用者のモチベーションを高めることにつながる場合もあります。
サービス提供者が第3表を見たとき、利用者の生活全般の過ごし方をイメージできることで、他のサービスとの役割分担と連携につながり、円滑なチームケアを行う上で効果的です。

月単位や隔週で利用するサービスと頻度が記載されていますか。
医療機関の受診頻度や科目が記載されていますか。
過去に導入した福祉用具購入や、住宅改修等の内容が記載されていますか。